



- ◆ 5月1日頃田植えのコシヒカリは「草丈と茎数はおおむね平年並み」の生育です。
- ◆ 今年も暑いですね！暑い日には対策を取って、熱中症には十分気をつけましょう！



水分補給を忘れずに！



## 1. 今年の気象と水稻の生育状況

### 1) 気象（平均気温・日照時間・降水量）

#### ◇平均気温

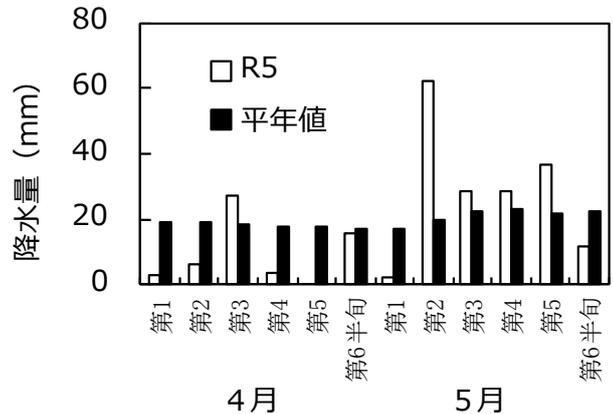
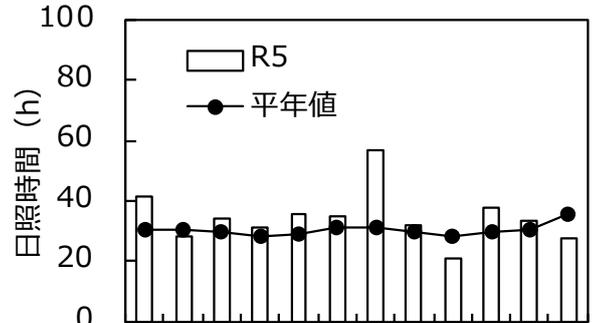
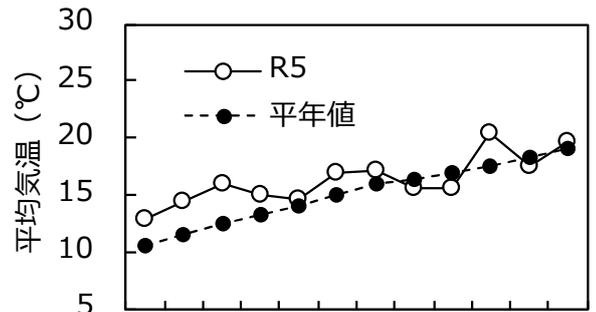
- ・ 4月は平年並み～高く推移しました。
- ・ 5月は連休明けにやや低くなりましたが、それ以外は平年並み～高く推移しています。

#### ◇日照時間

- ・ 4月は平年並み～やや多く推移しました。
- ・ 5月は連休には多くなりましたが、その後は平年並み～少なく推移しています。

#### ◇降水量

- ・ 4月は 15、26 日に降雨がありましたが、それ以外は少なく推移しました。
- ・ 5月は7日と8日に 30mm を超える降雨があり、その後も時おり、10mm を超える降雨がありました。



右図 平均気温・日照時間・降水量  
 (令和5年つくば市館野アメダスデータより)  
 (平年値は1991～2020年)



## おねがい

ペーパーレス化の推進にあたり、メールでの配信も行っています。本紙がご自宅あての郵便で届いている場合には、メールアドレスの登録をお願いいたします。なお、メールでは随時、研修会のおしらせなど役立つ情報の提供も行っております。

登録は、右記の QR コードまたは、[tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp) あてのメールにて「①お住いの市町村名」と「②氏名」をお知らせください。



## 2) 水稲の生育状況（田植え後 30 日頃）



### ふくまるSL（早生品種）～5月29日（田植え後30日頃）調査結果

- 「ふくまるSL」の生育は、草丈は平年並み、茎数は多く、葉色は平年並み～濃い傾向です。

調査地点	調査年	田植日	栽植密度 (株/坪) (畝間×株間)	草丈 (cm)	茎数		葉色 (SPAD)
					本/m <sup>2</sup>	本/株	
つくばみらい市	R5	5/2	62 (30×18)	28	146	8	41.6
取手市		5/1	64 (30×17)	27	176	9	37.8
平年値 (管内過去3年平均)		5/1	62 (30×18)	27	129	-	37.9

※施肥量は「ふくまる栽培における全量基肥施肥診断技術」による。

### コシヒカリ（中生品種）～5月29日（田植え後30日頃）調査結果

- コシヒカリの生育は平年値（過去5ヶ年平均）と比べ、草丈は平年並み～やや低く、茎数は平年並み、葉色は平年並み～やや薄い傾向です。中干しは、茎数が確保され次第、実施し（次ページ参照）、過剰分けつにならないように努めましょう。

調査地点	調査年	田植日	栽植密度 (株/坪) (畝間×株間)	草丈 (cm)	茎数		葉色 (葉色板)	葉色 (SPAD)
					本/m <sup>2</sup>	本/株		
つくば市上菅間	R5	5/2	55 (30×20)	29	173	10	3.8	36
	平年	5/1		30	173	-	4.2	37
つくば市今鹿島	R5	5/1	50 (30×22)	33	208	13	4.2	37
	平年	5/1		32	203	-	4.5	39
つくばみらい市 中島	R5	5/1	61 (30×18)	26	280	15	3.7	40
	平年	4/30		29	278	-	4.1	38

※平年値は、過去5年間の数値より算出。

**おしらせ**

普及センターでの土壌診断は、おおむね月1回実施しています。  
毎月20日締め、1経営体あたり5点以内（厳守）でお願いいたします。



## 2. 今後の管理 ～目標茎数に達した圃場では、中干しを開始しましょう！～

**ポイント1** 目標茎数に達するまでは、2～3cmの浅水管理で茎数確保に努めましょう。

**ポイント2** 目安は、田面に3～5mmの軽いヒビが入る程度です。

期間は15～20日程度です。

漏水しやすい水田では期間を短めにします。

葉色の濃いほ場や茎数が過剰になってしまった水田では長めに行います。

**ポイント3** 下表を参考に、茎数の確保を優先して、中干しを行いましょう。



表 中干し開始の目安となる茎数

品 種	熟 期	中干し開始の目安となる茎数			中干し 開始時期
			坪 60 株植え (畝間 30cm ×株間 18cm)	坪 50 株植え (畝間 30cm ×株 22cm)	
あきたこまち	早 生	330～370 本/㎡	18～20 本/株	-	田植え後 40日頃
ふくまる	早 生	400～430 本/㎡	22～23 本/株	26～28 本/株	田植え後 35日頃
コシヒカリ	中 生	330 本/㎡	18 本/株	22 本/株	田植え後 35日頃
ほしじるし	晩 生	330～370 本/㎡	18～20 本/株	-	田植え後 45～50日頃

**ポイント4** どうしても雑草が残る場合には、中・後期剤で防除しましょう。

中・後期剤

① 茎葉処理剤

(生育した雑草をすぐに枯らす)

② 茎葉兼土壌処理剤

(生育した雑草の防除＋発生を防ぐ効果もある)

<こんな水田は要注意！>

- ・難防除多年生雑草がある。
- ・雑草が長期にガラガラと発生する。
- ・適期に防除ができなかった。
- ・水管理が十分にできない。

散布前に、必ず、農薬のラベル  
をよく確認しましょう。



### 3. 除草剤の「ノビエ〇〇葉期まで」の表示について

水稻の除草剤のラベルを見ると、使用時期の欄に「ノビエ〇〇葉期まで」と書いてあることがあります。これは、除草剤の「除草効果を保証する晩限」を示しています。

具体的には、「一番大きなノビエの葉齢（ようれい）が、〇〇葉期になる前に、除草剤を散布しましょう」という意味です。

展開終了時の大きさを予測して10等分し、  
葉齢を判断します。  
したがって、この場合、2.5葉期になります。

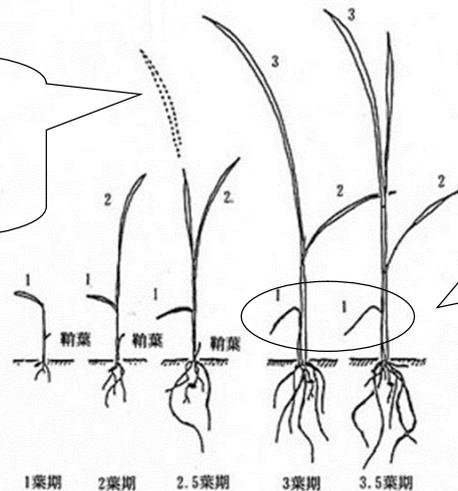


図 ノビエの葉齢の数え方

参考資料：「日本植物調節剤研究協会（2002）除草剤試験の手法（7）一雑草の葉齢の数え方一、植調36（3）、105—110）」より

### 4. 「J-クレジット制度」を知っていますか？



J-クレジット制度とは、温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

農業者は、取組で得たクレジットを購入者へ販売することで、収入が期待できます。また購入者は、環境貢献企業としてのPR効果や製品・サービスの差別化などのメリットがあります。なお、クレジット単価は購入者との相対取引で決まるため、あらかじめ定まった額はありません。

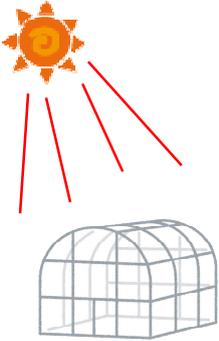
J-クレジット制度において、農業分野では5つの方法論が承認されており、今春には「水稻栽培における中干し期間の延長（※直近2か年以上の実施日数の平均より7日間以上延長）」が新たな方法論として承認されています。中干し期間の延長は、生産現場で比較的容易に取り組むことができ、かつメタン排出量が3割削減できる効果的な手法とされています。

制度にはメリットがある一方で、注意点もあります。活用にあたっては、同封のチラシ等のご確認をお願いいたします。



計画やクレジット認証には第3者機関による審査が必要で、お金がかかりますが、国からの費用支援もあります。  
また、取組の証明には「生産管理記録」が必要で、中干しの期間などを記録しておく必要があります。生産管理記録簿の作成を習慣化しましょう！

## 5. 普及センターへ寄せられた相談を紹介します。

相談内容	状況	対応策
<p>1. 苗の焼け</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の上昇に伴いハウス内の温度も高温になっていたが、ハウスの換気が不十分であったり、育苗シートをはずすのが遅れたりしたことで発生した。</li> <li>・育苗シートは保温効果の高いウレタンマットやシルバークラップを使用しているケースが多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①数日～1週間程度、様子を見る。</li> <li>②出芽まではハウス内の温度を25～30℃に保つようにし、晴天日など高温になりすぎるときは、適宜喚起する。</li> <li>③緑化期以降はハウス内の温度が25℃以上にならないよう、温度管理に努める。</li> <li>④最高気温が高くなることが予想される場合には、育苗シートは保温効果のないアルミ蒸着フィルム（太陽シート等）を使うようにしましょう。</li> </ul>
<p>2. 細菌病が疑われる病気の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イネもみ枯れ細菌病</li> <li>・苗立ち枯れ細菌病</li> </ul> <p>※2つの細菌病は、非常に似ており、発生初期の識別は困難です。イネもみ枯れ細菌病は芯葉の先端部が軽く引き抜ける特徴がありますが、苗立ち枯細菌病も病気が進むと芯葉が抜け、両者の識別は困難です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坪状に枯れる、苗全体が水不足でしおれたようになる、赤茶けた状態で枯れる、根が褐変するなど。</li> <li>・育苗中の高温多湿により発生が助長されていた。育苗ハウス内の温度が32℃以上になっていた、育苗時のかん水量がやや多かったなど。</li> </ul> <div data-bbox="456 1487 871 1823" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>種子消毒済みであっても育苗管理が適切でないと発生します。気温が高い中での育苗では、ハウス内の温度が上がり過ぎないように、また過湿とならないよう注意しましょう。</p> </div> 	<p>今年対策として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①（もみ枯れ細菌病であれば）<u>圃場での穂枯れを防ぐために薬剤処理を行う。</u></li> <li>②本田へ持ち込まない。<u>発生した育苗箱は全量廃棄処分とする。</u></li> </ul> <p>次年度以降は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①種子更新する。</li> <li>②種子消毒を適切に行う。消毒時に種袋に種粒を詰め過ぎないこと。袋の中で種粒が泳ぐようにゆったりと入れる。消毒液は繰り返し使用しないようにする。</li> <li>③培土はpH5.0～5.5の土を使用する。</li> <li>④催芽・出芽時や育苗中の温度は、30℃以上にならないようにする。</li> <li>⑤育苗中は、水分過多にならないようにする。</li> <li>⑥浸種や育苗には清潔な水を使用する。</li> <li>⑦過度な厚播きを避ける。</li> </ul>

## 6. 被覆資材は、特性を理解して、上手に活用しましょう！

被覆資材（商品例）		厚さ	特徴
保温	保温マット、発泡マット、 低発泡ポリエチレンシート （ミラシート）	0.3 ミリ	○保温性が高い。 適度な透光性をもつ（50%）。 ×昼間の温度が上がりやすく、 苗ヤケを起こしやすい。
	アルミ・ポリ3層フィルム に不織布を重ねたもの ・シルバーラブ#90	0.07 ミリ	○保温性が高い。 透光性が高い（90%）。 ×日中の高温時には、 苗ヤケに注意が必要。
遮光	太陽シート （遮光率98%、 耐用年数約1年）	0.06 ミリ	○アルミ層が太陽光を反射し、 遮光性が高い。昼間の温度が 上がりにくく、高温障害を防ぐ。 ×4月の育苗など低温時には 温度が上がらない。出芽の 遅れや病気の発生に注意。
	アルミ 蒸着 フィルム	0.12 ミリ	



苗焼けの原因のひとつにも  
なっています。

**寒地** → 夜温の低下が問題

- ・保温性に優れたもの  
保温マット、発泡マット

**暖地** → 昼間の気温の上がりすぎが問題

- ・遮光率100%のもの  
太陽シート

**中間地**

- ・保温性が中ぐらいのもの  
シルバーラブ#90  
（シルバーポリラップシート）

近年の春先の暖かさに伴い、  
管内でも増えつつあります。

参考資料：「山口正篤：あなたにもできる安心イネづくり，1993」より